



第1号
令和8年4月10日

国際教養科主任
水野豪人

つながる志、広がる世界 —国際教養科の新たな幕開けに寄せて—

木々の緑が芽吹き、希望に満ちた季節がやってきました。今年度、フレッシュな1年生を迎え、国際教養科の新しい体制がスタートしたことを心から嬉しく思います。新入生の皆さん、入学おめでとう。そして2、3年生の皆さん、進級おめでとう。

本科はこれまで、広い視野と確かな英語力を備え、社会の第一線で活躍できる人材の育成に力を注いできました。昨年度は台湾鳳高校との交流・ホームステイ、24名の生徒が参加したカナダ・バンクーバーでの語学研修、国際理解の集いにおけるSDGsに関するプレゼンテーション、JICAアフリカ研修員との深い文化交流。そして年度末の「1 minute English Challenge」では、現2、3年生が即興で自分の考えを英語にする挑戦を果たしてくれました。

また、学校の枠を超えた個人活動も目立ちました。地域の「千歳ゼロカーボンプロジェクト」への参画や、アメリカの大学生と最先端の医学的知見を学び、英語でプレゼンを行う夏キャンプ、世界中から来た30ヶ国以上の若者とつながるアジア架け橋プロジェクトへの挑戦など、自ら一步踏み出し、世界と対話する姿には目を見張るものがありました。こうした数々の経験を通じ、一人ひとりが着実に逞しく成長しています。

今年度、私たちが特に大切にしたいのが「縦のつながり」です。学科としての結束を深めるため、4月24日には全学年合同の「国際教養科集会」を開催します。1年生は先輩たちの背中から多くを学び、2・3年生は後輩たちへ自らの知見を伝え、英語で導く役割を担ってもらいます。この交流が、互いを高め合う原動力になると信じています。

1年生の皆さん、まずはこの新しい環境に慣れ、教養科での日々を全力で楽しんでください。2年生の皆さん、今年度は語学研修が控えています。英語力だけでなく、その背景にある「教養」も磨き上げましょう。そして3年生の皆さん、今年がこれまでの学びの集大成です。最後のプレゼンテーションに魂を込め、それぞれの進路実現に向けて悔いなく突き進んでください。

Think Globally, Act Locally. 地球規模で考え、足元から行動する。 私たちスタッフ一同、君たちの挑戦が充実したものになるよう、最大限のサポートを約束します。共に素晴らしい一年にしていきましょう！

1-3担任

カマロフ・アブドゥルアジズ 先生



国際教養科主任
水野 豪人 先生

2-3担任

北藤 真紀 先生



ALT(1学年)
Carly Hall 先生

3-3担任

小林 佳 先生



ALT(2学年)
Kyle Hubbard 先生

